

アーティストが自身の前提を揺さぶり

新しい試みに取り組むワークショップが「試行と交換」である。

「試行と交換」では、参加したファシリテーターが自身の興味を追求したり、そこから脱線するような、普段はやらないアイデアを実行したりします。また、参加したファシリテーター同士がクラスを行き来し、影響を受けあうことを期待しています。ワークショップの参加者は“試行”と“交換”がアーティストの仕事にフィードバックされる現場に立ち会います。

この人 / 作品に触れて以来、僕の中の何かが全く変わってしまった。そういう経験をさせられたアーティストに声をかけました。ここにあるリストの名前は、まったく濁りのない、僕一人だけの興味です。しかし、僕の人生を一変させたアーティストと作品は、僕一人だけではなくもっと多くの人に影響を及ぼす力を確実にもっているでしょう。

私たちは一人ひとりがごく狭いその人だけの世界に生きています。アーティストの仕事は、その世界とは別の世界があることを意識させたり、接点や共有する部分があることを気付かせたり、世界同士を強引につなぎ合ったりする力をもっています。各ファシリテーターがこの機会を活用し、自身の前提を揺さぶる“試行”と“交換”に取り組むこと、あなたがこのワークショップに参加することこそが力そのものでしょう。このワークショップを、自身の世界を異なる世界に接続する機会として大いに利用して欲しいと思います。

振子びじん 「We dance 2011」ディレクター

We dance 2011

Dance Community forum
We dance 2011
Workshop

第3回ダンス・コミュニティ・フォーラム「We dance 2011」ワークショップ

試行と交換 | 参加者募集

2011年1月8日《土》— 2月12日《土》 急な坂スタジオ/スタジオ2

ファシリテーター

飴屋法水

いつもどおり

危口統之

客席の設計

橋本 聡

場時盗風、ズボンに穴、壁に穴、風に穴、空に穴。工具や身体じゃ足りない

山下 残

豆腐屋は豆腐しか作れない

core of bells×小林耕平

core of bellsと小林耕平のクレージフォーユー

川崎 歩×振子びじん

記憶をダビングする行為

梅田哲也

難しいことをなるべく簡単にやる



公益財団法人セゾン文化財団



急な坂スタジオ

主催: NPO法人Offsite Dance Project 提携: 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama) 助成: 公益財団法人セゾン文化財団、横浜における創造的活動助成 特別協力: 急な坂スタジオ

timetable	10:30—13:30	14:00—17:00
2011		
1/ 8 (土)	飴屋法水①	危口統之①
9 (日)	飴屋法水②	危口統之②
15 (土)	橋本 聡①	危口統之③
22 (土)	山下 残①	橋本 聡②
29 (土)	山下 残②	CxOxB×小林①
30 (日)	山下 残③	橋本 聡③
2/ 5 (土)	山下 残④	CxOxB×小林②
11 (金・祝)	川崎×振子①	梅田哲也①
12 (土)	川崎×振子②	梅田哲也②

[参加方法]

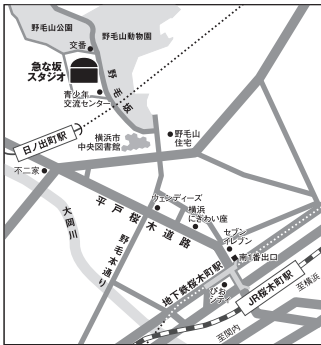
参加費：1回1,000円

定員：各回15名(先着順、定員必切) *連続参加を優先させていただきます。

申込方法及び受付:

Offsite Dance Project 宛に、

- ①氏名 ②参加クラス名と日時 ③連絡先(住所・電話番号)を明記し、メールでお申込ください。申込先:E-mail:info@offsite-dance.jp
- Offsite Dance Project から申込受付の確認メールをお送りします。参加費お支払い確認後、受付完了となります。



〒220-0032 横浜市西区老松町26-1 旧老松会館
tel 045-250-5388 fax 045-261-1300

アクセス:京浜急行線 日ノ出町駅から徒歩5分
JR・市営地下鉄線 桜木町駅から徒歩10分

「We dance」とは

アーティストの創作意欲とエネルギーの求心力でコンテンポラリーダンスの活性化を目指し、2009年より毎年横浜で開催しているダンス・コミュニティ・フォーラム。三回目の「We dance 2011」は、「TPAM in Yokohama」とも連携し、ワークショップに続き、2/15-20に横浜中心部の各所でフォーラムを開催。今回新たにディレクターに三人の若手アーティストを迎え、ダンスの試行/思考を通して、新たな発想が生まれるきっかけとなるダンスの場を模索している。

We dance 2011

ディレクター:きたまり・篠田千明・振子びじん

プロデューサー:岡崎松恵

Information

◎フォーラムにおける「試行と交換」

2/15-20のフォーラムにて、ワークショップの報告会及びファンリレーターの企画公演を予定しています。詳細はウェブにて。

◎「We dance 2011」サポートスタッフ募集

ワークショップ及びフォーラムの運営をサポートして下さる方を募集します。Offsite Dance Projectまでご連絡下さい。

問合せ:NPO法人Offsite Dance Project

〒223-0061 横浜市港北区日吉1-21-4-201 Tel&Fax.045-565-2331

E-mail: info@offsite-dance.jp

<http://www.offsite-dance.jp>

Dance Community forum We dance 2011 Workshop

[We dance 2011] ワークショップ 試行と交換

飴屋法水——いつもどおり

①1/8 ②1/9

特別な1日というものは特に無い。毎日毎日、なにかしらに会い、反応してしまう。日々はそういうことの連続である。がんばってないのかと言われる、生き物として当然な程度には、がんばっているし、それ以上でも以下でもない。ワークショップだろうがペトショップだろうが、いつもどおり、何かに会えば反応してしまうだろう。それは意図とは別のこと。つい、とか、うっかり、のカテゴリーに属することです。趣味は散歩です。

Norimizu Ameya 演出家/1961年生まれ。84年「東京グランギニョル」結成、以来、演劇、音楽、美術、ペトショップ等フィールドを越境した活動を展開。近年の演出作品に、平田オリザ作「転校生」、多田淳之介作「3人いる」、サラ・ケイン作「4.48サイコシス」、F/T2010における演劇ともインスタレーションともつかぬ新作「わたしのすがた」等。



危口統之——客席の設計

①1/15 ②1/9 ③1/15

舞台と客席の関係に興味があります。客席は(いわば国境のように)空間的かつ固定的に区切られています。しかし、線はどこにでも引くことが出来ます。時間の中にも、人格の中にも。「重たいものを持たせると美しい動きを見せる人。好きな話題になると聞いてのちらまでうれしくなるような笑顔を見せる人。舞台/客席を仕切る線をちょっと変えることで行為芸術の可能性を更に広げることが出来るかも知れません。

Noriyuki Kiguchi 演劇・パフォーマンスなどを企画するチーム「悪魔のしるし」主宰、演出家/1975年倉敷市生まれ。横浜国立大学建築学科卒業。ふつうの演劇を作ることも一方で、劇場性、物語性を欠いたまま為される行為の中から何らかの劇的瞬間や物語が立ち上がってくるような企画にも取り組んでいる。



橋本 聡——場時盗風、ズボンに穴、壁に穴、風に穴、空に穴。工具や身体じゃ足りない

①1/15 ②1/22 ③1/30

[過]:ワークショップのヒエラルキーを利用し、縄等で参加者同士が拘束しあうよう促す。ほとんど動けなくなった彼らを監禁、その間に彼らから盗る。彼らが盗れるなら私からも。[現]:2月のフォーラム等に絡み、上演でなく穴の実践。舞台等の先取りされた場でなく、不確定で不意な場(ホームレスゾーンと呼ぶ)を。[未]:私は2年、5年、いつか忘れた頃に参加者にアクセスする。Tel、メール、住所でなくとも名前や顔がアドレスに。[情報に穴]

Satoshi Hashimoto 思案のち雨、時々かみ切れ、ところによって穴空き/1977年生まれ。最近の発表、2010年3-5月「行けない、来てください」(アークス)、6月「来ると減る」(Art Center Ongoing)、7月「気象と終身」(アサヒアートスクエア)、7-10月グループ展「もった動きを——振付師としてのアーティスト」(広島市現代美術館)、2017年「未来芸術家列伝IV」。



山下 残——豆腐屋は豆腐しか作れない

①1/22 ②1/29 ③1/30 ④2/5

ダンスから、遠く離れても、それでもダンスになってしまう。これまでのいくつかの方法論を紹介しながら、いま興味のあることを、身近な素材を使って試したいと思います。新作に向けてのリサーチも含まれます。いろいろな分野の人と、特に演劇の人に参加してもらえたらうれしいです。

Zan Yamashita 振付家/1970年大阪府生まれ。京都市在住。90年代中頃より振付家・演出家として創作を始める。主な振付・演出作品に、「そこに書いてある」(02)、「透明人間」(05)、「せきをしめてひとり」(04)、「船乗りたち」(05)、「動物の演劇」(07)、「大洪水」(10)、など。



core of bells×小林耕平——core of bellsと小林耕平のクレージーフォーユー

①1/29 ②2/5

この場に「ひらめき」「思いつき」「ノリ」のアイデアを「力技」で「無理やり」出現させるための準備室。core of bells×小林の要素を分解しまぜる。「X」を出現させる、またはもうすでにこの場にあることに気づくこともかもしれない。参加者と共に「X」の出現について模索する予定です。

core of bells 2003年湘南で結成。2010年3月に待望のファーストアルバム「ポルキープ2010」を発表。同年8月にはFUJI ROCK FESTIVAL '10「ROOKIE A GO-GO」に出演。カテゴライズ不能の自由極まりないサウンドと、一見「非-音楽」とも思えるアイデアでその音楽性を揺らがす手法が評判を呼び、その目を疑うほどに珍奇かつ圧倒的なステージングで話題を集めている。

Kohei Kobayashi 美術家/1974年東京生まれ。99年愛知県立芸術大学美術学部油画科卒業。埼玉県在住。主な展覧会に「六本木クロッシング2007 日本美術の新しい展望」(森美術館)、「ビデオを待ちながら——映像.60年代から今日へ」(東京国立近代美術館'09)、など多数。神村恵カンパニー「385日」(世田谷美術館'10)に美術で参加。



川崎 歩×振子びじん——記憶をダビングする行為

①2/11 ②2/12

子供のころに見て自分自身が決定されてしまったような映像はありませんか。それはテレビのCMやアニメ、映画の一場面であつたり、常識で考えて現実にあるはずとは思えない、でも確かに自分は見たという白昼夢のような出来事の記憶だったりします。それらの映像が今、私たちの身体のどこに潜んでいるのかを探り当て、その記憶の映像をこの世界の物や人や場所にもどのようにダビングするか、を探りたいと思います。

Ayumu Kawasaki 振付家・ダンサー/アーティストとしてのキャリアを映像制作から始める。2001年にダンスと出会い、舞台作品を作り始める。視覚的に捉えた世界の事象を身体の隅々で(実感)して、(共有)するために、様々な(振付)の実験を試みている。関西在住。

Pijin Neji ダンサー・振付家/2004年まで舞踏カンパニー「大略駝艦」に所属し、赤彦兄に師事。退団後に独自の活動を始め、体に対する微視的なアプローチをしたソロや、体を物質的に扱った振付作品を発表する。ほかに(実験ユニット)での活動や、イベント「空き地」の企画などがある。



梅田哲也——難しいことをなるべく簡単にやる

①2/11 ②2/12

たとえば“音楽”をやるとします。ただこの場合の“音楽”とは、譜面も演奏者も、ましてや物理的な振動すら無くても成立しうるものなんです。ただそこに音楽の鑑賞者がいればいいという。音楽とはモノのたどる道で“”の身はダンスでも何でもいいです。できごとによって決められた要素なんてないんじゃないでしょうか。

Tetsuya Umeda 展示やパフォーマンスなどの作家。廃材や日用品を組み合わせて、光や音、動きなどの現象をたちあげたり、その場の状況に逆手にとったような、独特で一回性が高い行為をおこなう。ライブイベントを拠点としながら、アジアやヨーロッパ各地における音楽フェスティバル、企画展や国際展などに数多く参加。

